

「生理の貧困」に関するWEBアンケート調査結果

R4.2 鹿児島県 男女共同参画室

1 調査の概要

(1) 調査目的

女性や女の子が経済的な理由などから生理用品が買えない、または使えない、いわゆる「生理の貧困」に関する状況を把握し、課題を整理して、今後の施策の参考とする。

(2) 調査対象 県内在住の女性

(3) 調査方法 県電子申請共同運営システムによる

(4) 回答数 4,035人

(5) 調査時期 令和3年9月21日(火)～10月10日(日)【20日間】

2 回答者属性

① 年代(令和3年9月1日現在)

年代	人数(人)	割合
～10代	294	7.3%
20代	858	21.3%
30代	1,073	26.6%
40代	1,126	27.9%
50代	329	8.2%
60代	76	1.9%
70代～	7	0.2%
無回答	272	6.7%
計	4,035	100.0%

② 職業

職業	人数(人)	割合
小学生	1	0.0%
中学生	18	0.4%
高校生	116	2.9%
専門学校・専修学校生	54	1.3%
短期大学・大学・大学院生	491	12.2%
正社員	1,591	39.4%
契約社員、派遣社員	254	6.3%
パートタイム、アルバイト	917	22.7%
自営業、フリーランス	175	4.3%
無職	62	1.5%
専業主婦	323	8.0%
年金受給者	19	0.5%
その他	2	0.0%
無回答	12	0.3%
計	4,035	100.0%

③ 居住地域

地区	人数(人)	割合
鹿児島地区	2,067	51.2%
南薩地区	284	7.0%
北薩地区	621	15.4%
始良・伊佐地区	534	13.2%
大隅地区	248	6.1%
熊毛地区	41	1.0%
大島地区	206	5.1%
無回答	34	0.8%
計	4,035	100.0%

3 調査結果

① 「生理の貧困」という言葉を聞いたことがありますか。

項目	人数(人)	割合
聞いたことがあります, 関心をもっている	2,305	57.1%
聞いたことはあるが, くわしくは知らない	1,096	27.2%
はじめて聞いた	610	15.1%
その他	13	0.3%
無回答	11	0.3%
計	4,035	100.0%

② これまでに生理用品を買うのに困ったことがありますか。

項目	人数(人)	割合
困ったことはない	3,032	75.1%
ときどき困っている	847	21.0%
いつも困っている	138	3.4%
無回答	18	0.4%
計	4,035	100.0%

困った経験がある人 (985人)

③ 【困った経験がある人のみ】

生理用品を買うのに困った理由を教えてください。(複数回答可)

項目	人数(人)	割合
収入が少ない(減った)から	502	51.0%
値段が高いから	564	57.3%
自分が使えるお金が少ないから	334	33.9%
他にお金を使わなければならないから	455	46.2%
自分で買うのがはずかしいから	81	8.2%
親(保護者)にたのみにくい(はずかしい)から	64	6.5%
親(保護者)の収入が少ない(減った)から	30	3.0%
親(保護者)が買ってくれないから	11	1.1%
その他	74	7.5%
「困った経験がある人」の計	985	

④ 【困った経験がある人のみ】

生理用品を買うのに困った理由や事情について詳しく教えてください。

- ・ コロナの影響でバイトのシフトを減らされ収入も減った。(短大・大学・大学院生/10代)
- ・ 子どもの学費, 部活動費, 交通費, 家族の食費や交際費で出費が多くそちらを優先してしまう。
(パートタイム・アルバイト/20代)
- ・ 給料が少なく, 生活費や医療費などで消えてしまう。(パートタイム・アルバイト/30代)
- ・ 子どもが4人。うち小学生が3人で長時間勤務が困難なため収入が少ない。
(契約社員, 派遣社員/40代)
- ・ 父と妹と3人暮らし。父には頼みづらい。(高校生/10代)

⑤ 【困った経験がある人のみ】
生理用品を買うのに困ったときどうしましたか。（複数回答可）

項目	人数(人)	割合
交換する回数を減らした	805	81.7%
トット°-パ°-など生理用品でないものを代わりに使った	318	32.3%
周りの友人や他の人に借りた, またはもらった	170	17.3%
学校の保健室等でもらった	22	2.2%
その他	53	5.4%
「困った経験がある人」の計	985	-

⑥ 【困った経験がある人のみ】
生理用品を使わなかったり, 使い回したりすることで,
心やからだに不調を感じたり, 具合がわるくなったりしたことがありますか。

項目	人数(人)	割合
不調を感じたりしたことはない	260	26.4%
ときどき不調を感じたりする	503	51.1%
いつも不調を感じている	164	16.6%
無回答	58	5.9%
「困った経験がある人」の計	985	100.0%

⑦ 「生理の貧困」について, どういう支援があったらよいと思いますか。
(複数回答可)

項目	人数(人)	割合
生理用品の無料配布	2,626	65.1%
生理用品の購入費用の補助または助成	2,639	65.4%
生理についての正しい知識を広める	1,921	47.6%
生理について相談できる窓口を増やす	1,481	36.7%
その他	182	4.5%
計	4,035	-

⑧ 生理用品を無料で配布される場合, どの場所がよいですか。
(複数回答可)

項目	人数(人)	割合
公共施設のトイレ	2,055	50.9%
生活や就労等の相談施設のトイレ	1,363	33.8%
学校のトイレ	2,360	58.5%
公共機関の窓口	1,177	29.2%
生活や就労等の相談機関の窓口	1,002	24.8%
学校の保健室	2,505	62.1%
放課後児童クラブなどの学童保育施設	1,338	33.2%
子ども食堂	1,065	26.4%
その他	352	8.7%
計	4,035	-

⑨ 生理用品を無料で配布される場合, どの方法がよいと思いますか。
(複数回答可)

項目	人数(人)	割合
生理用品の配布	2,440	60.5%
電子クーポン券(LINEクーポンなど)での配布	2,490	61.7%
紙のチケット・引換券での配布	1,810	44.9%
その他	108	2.7%
計	4,035	-

● 生理用品を買うのに「いつも困っている人」の状況 (n=138人)

① 「いつも困っている人」が生理用品を買うのに困った理由 (複数回答可)

項目	人数(人)	割合
収入が少ない(減った)から	94	68.1%
値段が高いから	97	70.3%
自分が使えるお金が少ないから	63	45.7%
他にお金を使わなければならないから	81	58.7%
自分で買うのがはずかしいから	12	8.7%
親(保護者)にたのみにくい(はずかしい)から	8	5.8%
親(保護者)の収入が少ない(減った)から	14	10.1%
親(保護者)が買ってくれないから	3	2.2%
その他	14	10.1%
「いつも困っている人」の計	138	-

② 「いつも困っている人」の割合 (年代別)

項目	人数(人)	全体(人)	割合
～10代	11	294	3.7%
20代	34	858	4.0%
30代	48	1,073	4.5%
40代	31	1,126	2.8%
50代	3	329	0.9%
60代	0	76	0.0%
70代～	0	7	0.0%
無回答	11	272	-
計	138	4,035	-

③ 「いつも困っている人」の割合 (職業別)

職業	人数(人)	全体(人)	割合
小・中学生, 高校生	5	135	3.7%
専門学校, 短大・大学・大学院生	18	545	3.3%
学生層	23	680	3.4%
正社員	34	1,591	2.1%
契約社員, 派遣社員	14	254	5.5%
パートタイム, アルバイト	39	917	4.3%
自営業, フリーランス	6	175	3.4%
無職等	22	404	5.4%
社会人層	115	3,341	3.4%
無回答	0	14	-
合計(学生層+社会人層)	138	4,035	3.4%

④ 「いつも困っている人」が生理用品の無料提供を希望する場所 (複数回答可)

項目	人数(人)	割合
公共施設のトイレ	70	50.7%
生活や就労等の相談施設のトイレ	44	31.9%
学校のトイレ	58	42.0%
公共機関の窓口	59	42.8%
生活や就労等の相談機関の窓口	32	23.2%
学校の保健室	44	31.9%
放課後児童クラブなどの学童保育施設	30	21.7%
子ども食堂	28	20.3%
その他	29	21.0%
「いつも困っている人」の計	138	-

【アンケートに寄せられた主な意見】

- 社会全体で支える，理解につながる取組をお願いしたい。
- 男性にも関心を持ってもらいたい。
- 生理の度に辛い思いをした，生理の貧困で悩む子ども達が減るよう希望する。
- 生理痛を和らげる薬など結構かかり生活費がかさむ。
- いろいろと気軽に相談できる窓口ができるといい。
- 生理の貧困という言葉が出てきたこと自体が考える一歩になる。女性が安心して活動できる環境づくりが進むとありがたい。
- 生理用品の配布の取組は経済的にありがたい。学生などコロナで大変だと思う。

など